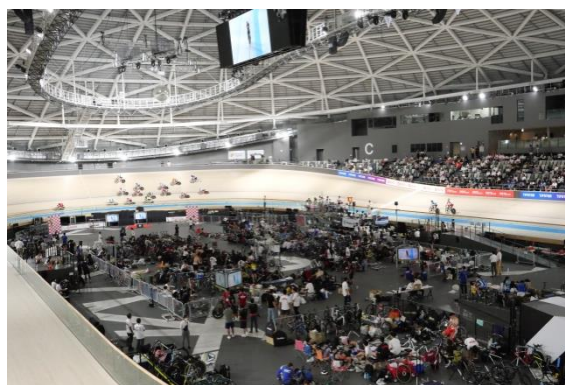


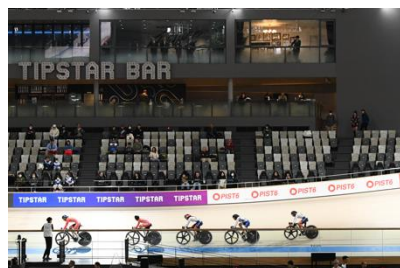
令和5年度（2023年度）事業報告書



インカレ・トラック（2023年8月・千葉県千葉市 TIPSTAR DOME CHIBA）



インカレ・ロード（2023年9月・長野県大町市美麻地区）



全日本学生選手権トラック（2023年7月・静岡県伊豆市）「JICF 国際トラックカップ& 学生オムニアム選手権（於チップスタードーム千葉）」



RCS 最終戦・神宮外苑クリテリウム（2024年3月）

1 はじめに

2023年度は、新型コロナウイルスの5類への移行に合わせ、感染蔓延まへの社会状況を少しずつ取り戻しスタート致しました。前年度（2022年度）の悲しい事故を重く受け止め、安全な競技を実現するべく「講習会」「実技レクチャー」など『セイフティライドに向けた取り組み』に重点を置き、事業を遂行して参りました。参加者、指導者、主催者に意識の向上が深まり、少しずつではありますが学生連盟として前進をしてきたのも束の間、北海道での事故により、連盟内の若い命を失う事となってしまいました。亡くなられた中央大学・五十嵐洸太さんに対し謹んでご冥福をお祈りし、ご家族・関係者の皆様に哀悼の意を表します。

安全性の向上にむけ、様々なリスクを下げる諸対策に、単純な手法や明確なゴールがあるものではありませんが、引き続きセイフティライドに向けたマインドとスキルを身に付けることは、不断の取り組みとして常に関係者全員が肝に銘じる必要があり、今後も引き続きよりリスクの低い事業遂行の為に順次取り組まなければならないと考えております。

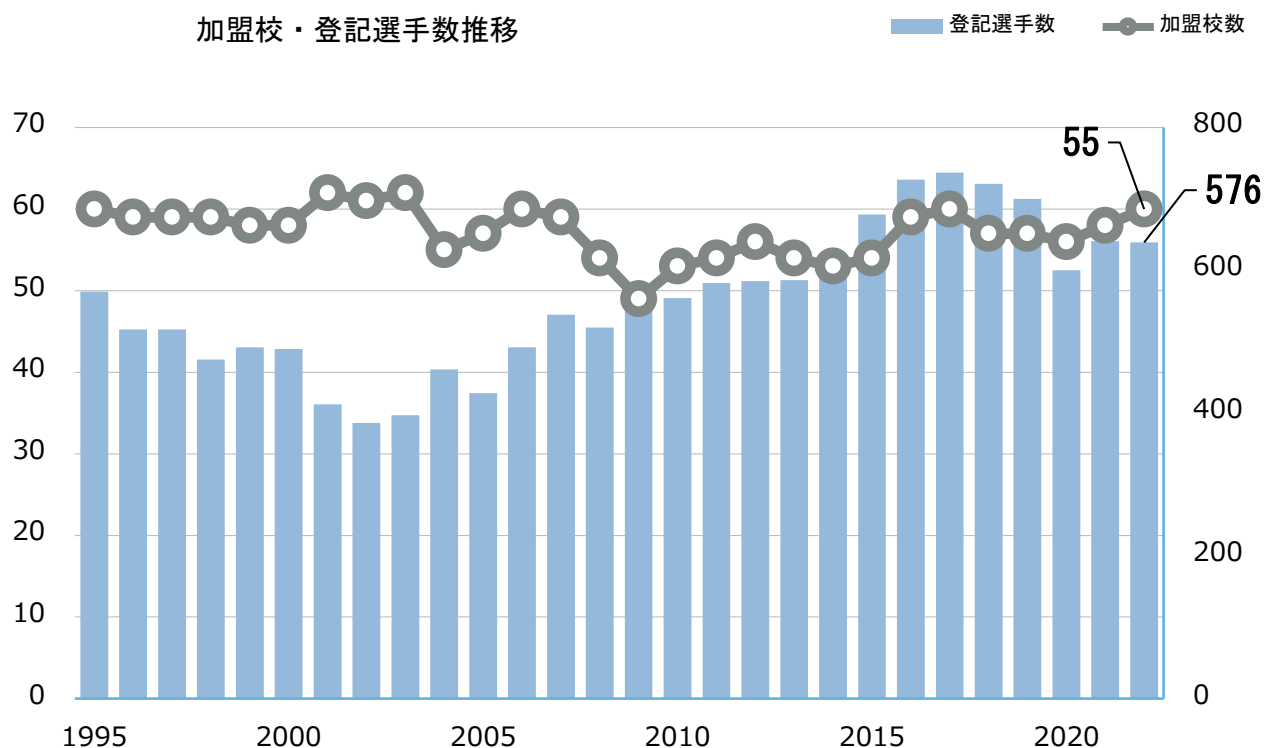
2 加盟校数・登記選手数等の推移

2023年度は、加盟校は55校で前年より5校の減少、登記選手数も576名で前年の639名に比べ63名の減少でした。セイフティライド講習の義務付けや、スキルアップを求めたエントリー条件など、参加基準のハードルが上がった事と、各校で選手登記の慎重度への変化、或いは少子化による部員数の減少など、様々な要素が推測される。長年にわたり加盟校100校、登記選手数1000名を目標としてきましたが、前年度の事業計画で確認された通り、安全に対する取り組み体勢が「一定程度充実したチームにより構成される事」安全重視の組織へと「質的転換を図る流れ」が影響している事が推定されます。

また、学連所属の審判員登録は73名、チームアテンダント登録は15名で、審判員数は横ばい、チームアテンダント数は前年度多かった分減りましたが、今後も安定した競技運営に向けてこれら登録者の増加が必要と考えられます。

（2023年度のJCF登録競技者7,753名、JCF審判員登録2,595人、チームアテンダント1,803人）

加盟校・登記選手数推移



西暦	平成/令和	加盟校	男子選手	女子選手	選手計	評議員	賛助会員	審判員登録	アテンド登録
1995	7	60			570	264		140	
1996	8	59			517	270		114	
1997	9	59	479	38	517	261			
1998	10	59	441	34	475	270			
1999	11	58	461	31	492	278	83	135	
2000	12	58	449	31	490		81	180	
2001	13	62			412	317	85	176	
2002	14	61			386	323	79	151	
2003	15	62			397	323	110	148	
2004	16	55	429	32	461	323	99	133	
2005	17	57	395	33	428	323	76	144	
2006	18	60	469	23	492	349	89	161	
2007	19	59	505	33	538	351	88	154	
2008	20	54	498	22	520	326	83	128	
2009	21	49	521	25	546	328	77	125	
2010	22	53	531	30	561	355	59	121	
2011	23	54	552	30	582	354	63	92	
2012	24	56	552	33	585	354	61	98	
2013	25	54	555	31	586	357	66	90	
2014	26	53	559	36	595	352	60	100	
2015	27	54	643	35	678	352	82	123	
2016	28	59	692	36	727	353	68	118	
2017	29	60	698	39	737	353	68	110	43
2018	30	57	679	42	721	377	79	80	13
2019	31	57	656	44	700	361	66	111	50
2020	2	56	562	38	600	346	54	98	20
2021	3	58	608	33	641	353	72	76	20
2022	4	60	698	31	639	355	80	77	42
2023	5	55	559	17	576	359	40	73	15

登記者数一覧表

2023年度 日本学生自転車競技連盟 加盟校・登録選手数一覧										2024.03.31			
東日本（静岡・長野・新潟以東）							西日本						
CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計	CODE	都道府県	学校名	加盟	男子	女子	計
1	北海道	札幌大学				0	19	富山					0
		北海道大学				0	20	石川	金沢大学				0
2	青森	八戸学院大学	1	3	2	5			北陸大学				0
3	岩手	富士大学				0	18	福井					0
4	宮城	仙台大学				0	23	愛知	愛知大学				0
		東北学院大学	1	9		9			中京大学	1	16		16
5	秋田					0			南山大学	1	3		3
6	山形					0	24	三重	皇學館大學	1	2		2
7	福島					0			三重大学	1	4		4
8	茨城	筑波大学	1	3		3	21	岐阜	朝日大学	1	37		37
9	栃木	作新学院大学	1	16		16	25	滋賀					0
10	群馬	高崎経済大学				0	26	京都	京都大学	1	4		4
11	埼玉	埼玉大学	1	3		3	26	京都	京都産業大学	1	17		17
12	千葉	順天堂大学	1	14	3	17			京都府立医科大学				0
13	東京	学習院大学	1	2		2			同志社大学	1	8	1	9
		慶應義塾大学	1	20		20			明治国際医療大学	1	6		6
		駒澤大学	1	7		7			立命館大学	1	8	1	9
		成蹊大学				0			龍谷大学	1	3		3
		大東文化大学				0	27	大阪	大阪大学	1	9		9
		中央大学	1	16		16			大阪医科薬科大学	1	2		2
		東京大学	1	14		14			大阪経済大学	1	2		2
		東京工業大学	1	4		4			大阪工業大学	1	6		6
		東京都市大学	1	6		6			大阪公立大学	1	3		3
		東京都立大学				0			大阪産業大学	1	13		13
		東邦大学	1	1		1			大阪市立大学				0
		東洋大学	1	7		7			関西大学	1	16	1	17
		日本大学	1	51		51			近畿大学	1	6		6
		一橋大学	1	3		3	28	兵庫	関西学院大学	1	2		2
		法政大学	1	24	4	28			神戸大学				0
		明治大学	1	15	1	16	29	奈良					0
		明星大学	1	16		16	30	和歌山					0
		立教大学	1	11	1	12	31	鳥取					0
		早稲田大学	1	10	4	14	32	島根					0
14	神奈川	神奈川大学	1	3		3	33	岡山	岡山大学	1	2		2
		神奈川工科大学				0	34	広島					0
		東海大学	1	12		12	35	山口					0
		日本体育大学	1	27	4	31	36	徳島	徳島大学	1	5		5
		防衛大学校				0	37	香川					0
16	山梨	山梨学院大学	1	4		4	38	愛媛	愛媛大学	1	1		1
15	新潟	新潟大学	1	5		5	39	高知	高知工科大学				0
17	長野	新潟食料農業大学	1	31		31	40	福岡	九州大学				0
		信州大学	1	13	2	15			久留米大学				0
		長野大学				0			福岡大学	1	3	1	4
		松本大学	1	1		1	41	佐賀					0
18	静岡					0	42	長崎					0
							43	熊本					0
							44	大分					0
							45	宮崎	宮崎大学				0
							46	鹿児島	鹿屋体育大学	1	18	4	22
							47	沖縄	沖縄国際大学				0
東日本小計			30	351	21	372	西日本小計			25	196	8	204
							全国合計			55	547	29	576
										校	男子	女子	合計

3 大会の参加者の推移

令和5年度（2023年度）は、前半において計画されていた各種大会を順次開催したが、後半は北海道での事故を受けて大会を見合わせたものの、参加者延べ数は前年度比増加した。

令和5（2023）年度 日本学生自転車競技連盟 事業実施計画案（Ver2.6）										選手数					2023.12.19.	
月	日	曜	日	大 会 名 等	NAME OF THE EVENT	種別	男子	女子	OPEN	合計	会 場 等	VENUE				
				学連主催選手権大会等												
				全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ												
				全日本学生トラックレース・シリーズ												
				会議等												
令和5（2023）年度																
4	5	水			第1回理事会	会議				0	リモート					
4					チームアテンダント講習会	会議				0	リモート					
4	15	土			第24回JICF女子カップ（トラック） JICF WOMENS CUP TRACK	トラック		3		3	静岡県・日本サイクルスポーツセンター					
4	15	土			全日本学生TRS第1戦	トラック	128			128	静岡県・日本サイクルスポーツセンター					
4	16	日			第24回JICF女子カップ（ロード）+RCS#1 JICFオープンロード JICF WOMENS CUP ROAD	トラック	146	4		150	静岡県・日本サイクルスポーツセンター					
4	23	日			全日本学生RCS第2戦 けいはんなラウンド	ロード	58			58	京都府・精華町					
4	29	土			セフティライド研修（実技編）	ロード				0	長野県飯山市					
4	29-30	土・日			全日本学生RCS第3戦 第16回菜の花飯山ラウンド(土：研修;ITT、日：クリテリウム)	ロード	181	1	2	184	長野県飯山市					
					同上2日		180			180						
5	6-7	土・日			第41回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会 WEST JAPAN STUDENT TRACK	トラック				0						
					同上2日		78	2		80						
5	6-7	土・日			第62回 東日本学生選手権トラック自転車競技大会 EAST JAPAN STUDENT TRACK	トラック	124	23		147	長野県松本市・美鈴湖自転車競技場					
					同上2日		91	18		109						
5	20	土			セフティライド研修（実技編）	ロード				0	静岡県・日本サイクルスポーツセンター					
5	27	土			セフティライド研修（実技編）	ロード				0	鹿児島県					
5	28				第25回 全日本学生選手権クリテリウム大会 STUDENT CRITERIUM CHAMPIONSHIPS TOKYO	ロード	89	8		97	東京都・大井埠頭					
6	3	土			第61回 全日本学生選手権 チーム・ロード・タイムトライアル大会 UNIV.STUDENT TEAM TIME TRIAL （悪天候中止）	ロード				0	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷					
6	4	日			第8回全日本学生選手権個人ロードTT自転車競技大会 UNIV.STUDENT INDIV. T.T. （悪天候中止）	ロード				0	埼玉県加須市・羽生市 利根川河川敷					
6	10-11	土・日			第38回 全日本学生選手権個人ロードレース大会 UNIV. STUDENT INDIV. ROAD RACE	ロード		9		9	長野県木曽郡木曽村					
					同上2日		120			120						
6	10	土			第2回理事会					0	リモート+a					
6	17	土			第1回評議員会	会議				0	リモート+a					
6	17-18	土・日			全日本学生TRS第2戦	トラック				0	山梨県・峡川自転車競技場					
					同上2日		113	3		116						
6	24	土			全日本学生RCSオープン戦・草津ナイトレース	ロード	74			74	滋賀県草津市					
7	1-2	土・日			第63回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会 UNIV.SUTUDENT TRACK CHAMPIONSHIPS	トラック	181	26		207	静岡県・日本サイクルスポーツセンター					
					同上2日		107	21		128						
7	8-9	土・日			第1回PIST6 カップJICF エンデュランストラックレース選抜大会	トラック	19			19	千葉県・TIPSTAR DOME CHIBA					
					同上2日		19			19						
7	29-30	土・日			全日本学生RCS第4戦・第17回 白馬クリテリウムラウンド	ロード	193	1		194	長野県・白馬町特設サーキット					
					同上2日		183	1		184						
8	5-6	土・日			全日本学生TRS第3戦	トラック	171	9		180	千葉県・TIPSTAR DOME CHIBA					
					同上2日		100			100						
8	13				第58回 西日本大学対抗選手権自転車競技大会	TRACK	32	2		34	京都府・向日町競輪場					
8	25-27	金・日			文部科学大臣杯 第78回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TRACK	122	20		142	千葉県・TIPSTAR DOME CHIBA					
					同上2日		100	17		117						
					同上3日		54	13		67						
9	3	日			文部科学大臣杯 第78回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会	ROAD	163	16		179	長野県・大町美麻地区					
9	17	日			全日本学生RCS第5戦 群馬ロードレース・ラウンド（開催先送り）	ロード				0	群馬県・群馬サイクルスポーツセンター					
					全日本学生RCS第 戦 美山個人ロードタイムトライアル・ラウンド（開催見送り）	ロード				0	京都府美山					
					全日本学生RCS第 戦 美山ロードレース・ラウンド（開催見送り）	ロード				0	京都府美山					
10	8	日			第58回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会	トラック	29	2		31						
10	8	日			第58回 全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会	トラック	56			56	山梨県・峡川自転車競技場					
10	22	日			全日本学生RCS第6戦 東海道どまんなか袋井ラウンド（中止）	ロード				0	静岡県袋井市 エコバ					
10	28	土			全日本学生RCS第7戦 雷峰木曽おんたけ おんたけ湖岸・個人ロードタイムトライアルラウンド（中止）	ロード				0	長野県木曽郡王滝村					
10	29	日			全日本学生RCS第8戦 雷峰木曽おんたけ ヒルクライム ラウンド（中止）	ロード				0	長野県木曽郡王滝村					
11	4	土			全日本学生RCS第9戦 大島 サンセットバームライン・個人ロードタイムトライアル・ラウンド	ロード	30			30	東京都大島町					
11	5	日			全日本学生RCS第10戦 大島 三原山 御神火スカイライン・ヒルクライム ラウンド	ロード	34			34	東京都大島町					
11	11	土			全日本学生RCS第5戦 群馬ロードレース・ラウンド（日程変更）	ロード	100			100	群馬県・群馬サイクルスポーツセンター					
11	25-26				JICF INTERNATIONAL TRACK CUP&全日本学生選手権オムニウム大会 UCI CLASS-2	トラック	35	2	44	81	千葉県・TIPSTAR DOME CHIBA（予定）					
					同上2日		32	4	40	76						
12	16	土			全日本学生TRS第4戦（中止）	トラック				0	千葉県・TIPSTAR DOME CHIBA（予定）					
12	17	日			全日本学生RCS第11戦・浮城のまち行田クリテリウムラウンド	ロード	118	2		120	埼玉県行田市・運動公園前					
12	20	水			加盟校説明会					0	リモート					
2024年																
1	20	土			セフティライド研修（実技編）	ロード				0	埼玉県 森林公園					
1	28	日			全日本学生RCS第12戦・埼玉川島町ラウンド	ロード	112			112	埼玉県川島町（予定）					
2	25	日			全日本学生RCS最終戦・第18回明治神宮外苑大学クリテリウム	ロード	173	6	8	187	東京都・明治神宮外苑					
3	17	日			全日本学生TRS第5戦	トラック	73			73						
					第4回全日本学生選手権自転車競技e-レース大会											
※日程表に記載された日程・開催場所等は予定であり、変更となる場合があります。							3,618	213	94	3,925						
					凡例：RCS：ロードレースカップ・シリーズ、TRS：トラックレースシリーズ、							日本学生自転車競技連盟				

4 選手権大会の開催

「セイフティライド講習受講の条件」を満たす事や、「感染対策を図る事の順守」などを講じ、各種選手権大会を開催しました。

・全日本大学対抗選手権（インカレ）

千葉県千葉市チップスタードーム（屋内250m）で8月25～27日にトラック競技を、9月3日に長野県大町市・美麻地区にてロードレース競技を開催しました。関東地区近郊での大会開催となり、トラック競技には男子179名と女子22名、ロード競技には男子163名と女子16名のエントリーが集まりました。観戦環境や地理的条件が良かった事で観客数も多い中、男子はトラック総合成績最上位が日本大学、ロード総合成績最上位が日本大学、総合優勝・日本大学でした。

女子はトラック総合成績最上位が鹿屋体育大学、ロード総合成績最上位が信州大学、総合優勝は鹿屋体育大学でした。「高木秀彰賞（インカレロードレースの男・女各々の優勝者のチームへ授与）」は、男子は阿部源選手＝日本大学、女子は小林あかり選手＝信州大学が受賞しました。

・全日本学生選手権個人ロードレース大会

6月10～11日に、長野県木曽郡木祖村での開催となりました。昨年に続いて当地での開催となり、女子は石田唯選手/早稲田大学、男子は篠崎蒼平選手/東京大学が優勝しました。

・全日本学生選手権トラック大会

静岡県伊豆市 CSC ベロドローム（屋外250m）で開催されました。前年に続いての同競技場での開催で、男子1Kmで大会新記録が更新されるなど熱戦が繰り広げられました。男子、女子マディソンも開催され、今後さらなる学連選手のレベルアップが期待されました。

・全日本学生チームロードタイムトライアル大会

例年と同様、埼玉県加須市・羽生市の利根川河川敷にて予定を致しましたが、前日の豪雨によるコースの冠水により、中止となりました（天候が回復していた為、予定していた「セイフティライド講習」は実施）。

・全日本学生個人ロードタイムトライアル大会

チームロードと同様、コースの冠水で大会の実施は見合わせとなりました。

・全日本学生選手権クリテリウム大会

ツアーオブジャパンの最終日に東京ステージの会場である大井埠頭にて開催されました。女子は石田唯選手/早稲田大学、男子は田村一暉選手/京都産業大学が優勝しました。

・全日本学生選手権オムニアム大会

千葉県 チップスタードーム（屋内250m）で、JICF国際トラックカップと同場所併催にて開催されました。今後もオムニアム種目での学連選手の活躍が期待されます。

・東西学生選手権トラック大会

東日本学生選手権トラック大会は 長野県松本市 美鈴湖自転車競技場（屋外333m）で開催、西日本学生選手権トラック大会は 京都府 向日町競輪場にて開催を致しました。

5 強化・普及大会の開催

・全日本学生ロードレースカップ シリーズ

第1戦を当年度は例年よりやや早い4月中旬J I C Fオープンロードレース（修善寺C S C 5 Kサーキット）でスタートし、順次実施して参りました。北海道での事故の直後に予定していたラウンドの見合わせや、行政の自粛などを受け、秋以降開催出来なかったラウンドがありましたが、例年と同様、明治神宮外苑大学クリテリウム を最終戦として計10戦（計画は14戦）が開催されました。

・ロードカテゴリー制

ロード選手のカテゴリーを実力別にクラス1, 2, 3, に分類し、選手権大会の参加資格者が決まる制度も定着してきました。従来通りのロードカテゴリー制度の運用を実施して参りました。

・全日本学生トラックレース シリーズ

当初 計5戦を計画した中、参加者の状況で実施を見合わせたラウンドもありましたが屋内施設で多くの経験（運営・競技）を積むべく、千葉県千葉市 千葉J P Fドーム（屋内250m）で複数回開催、計4戦を実施致しました。同じくチップスタードームで開催の「エンデュランス」への招待参加も含め、250m施設での経験の機会を得る事が出来ました。

6 セイフティライド「座学講習」「実地研修」実施実績

2022-2023年度セイフティライド 実地研修会・座学講習会 実施実績

2024.6.25.

回	実施日	種別	内容	講師所属・出身校	講師氏名	受講者数	備考
2022年度							
1	20221120	座学	サイクルクリニック	キノフィット	木下智裕	26	
2	20221204	実地	自転車学校@西武園競輪場		東京都自転車競技連盟	34	
3	20221212	座学	企業における安全対策事例から考える	早稲田大学	古賀岳文	52	
4	20221219	座学	タイヤに関する基礎知識	I R C	瀬古運加	100	
5	20230116	座学	ある大学チームの事故と安全対策の事例	慶應義塾大学	宇佐美祥	216	
6	20230121	実地	集団走行研修@森林公園	エカース	浅田顕	122	
7	20230129	実地	トラック走行研修@千葉ドーム	明治大学	吉井功治	46	※ロード出場の実地研修とは認めない
8	20230206	座学	大学チームの安全対策について	東京大学	三宅秀一郎	65	
9	20230212	実地	ロードバイクの基本研修@川島町	東京都自転車競技連盟		67	
10	20230225	座学	大学自転車フォーラム セーフティライド研修	JICF	(神宮前日のフォーラム)	15	
11	20230226	実地	ロードバイクの基本研修@神宮外苑	東京都自転車競技連盟		53	
12	20230324	実地	ロードバイクの基本研修@堺市海とのふれあい広場	中京大学	中根英登	12	
13	20230325	実地	トラック走行研修@境川自転車競技場	東京都自転車競技連盟	東京都自転車競技連盟	85	※ロード出場の実地研修とは認めない
2023年度							
14	20230410	座学	サイクルクリニック	キノフィット	木下智裕	134	
15	20230415	実地	トラック走行研修@CSC北400	中央大学	佐藤一朗	55	※ロード出場の実地研修とは認めない
16	20230416	実地	CSC5kmサーキット走行研修@CSC5kmサーキット	立教大学	森川和之	52	
17	20230423	座学	ある大学チームの事故と安全対策の事例	慶應義塾大学	宇佐美祥	44	
18	20230422	実地	ロードバイクの基本研修@けいはんなサイクルレースコース	ロードバイク山下塾	山下貴宏	19	
19	20230429	実地	集団走行研修@飯山	中京大学	中根英登	174	
20	20230506	実地	競争路安全走行研修@美鈴湖自転車競技場	順天堂大学	古田陸志	33	※ロード出場の実地研修とは認めない
21	20230507	実地	ロードバイクの基本研修@京都向日町競輪場	京都産業大学	秋田謙	7	
22	20230520	実地	ロードバイクの基本研修@CSC5kmサーキット	鹿屋体育大学	上野みなみ	12	
23	20230527	実地	ロードバイクの基本研修@鹿児島根占自転車競技場	鹿屋体育大学	山口大貴	21	
24	20230529	座学	安全確認と救急処置の研修会	鹿屋体育大学	山口大貴	70	
25	20230603	実地	ロードバイク集団走行研修@利根川	エカース	浅田顕	27	
26	20230617	実地	トラック走行研修@境川自転車競技場	中央大学	佐藤一朗、吉井功	10	※ロード出場の実地研修とは認めない
27	20230710	座学	タイヤに関する基礎知識	I R C	瀬古運加	298	
28	20230717	実地	ロードバイクの基本研修@京都向日町競輪場	KEIcycles	木村圭佑	13	
29	20230723	実地	自転車学校@西武園競輪場	東京都自転車競技連盟		18	
30	20230724	座学	U C I ルール改正の概要と安全対策について	JICF	松倉信裕	172	
-	2023.7-8	座学	UNIVASセミナー/JCF動画 セルフ視聴&レポート	(自習)	(自習)	48	20240121現在
31	20231111	実地	ロードバイクの基本研修@群馬CSC	明治大学	西沢倭義	9	
32	20240120	実地	RTA集団走行研修@森林公園	エカース	浅田顕	57	
33	2024.2.24	座学	JCFアンチドーピングワークショップ2024	JCFアンチドーピング委員会	笠師久美子	25	
34	2024.3.9	座学	第14回 大学自転車競技フォーラム 2024 東京	JICF		25	
35	2024.3.31	実地	ライディングスキルアップ・スクール@京都向日町競輪場	京都産業大学	山岸正教	29	

7 2023年度中の落車の実態と分析（安全・医事委員会 より）

令和4年度（2022年度）のインカレロードにおける落車事故後に再開した大会以降、各大会に配置したセイフティ・マネージャーから提出された落車報告書にもとづき、令和5年度（2023年度）1年間に発生した落車について、分析・考察を致しました（別記：資料参照）。

資料に記された落車は、報告・記録されたものに限られており、特にロードレースにおいては主催者が把握していない小規模な落車もあった可能性があります。また、落車の原因をひきおこしたが自身は落車していない、という者はここに含まれません。ここに記された件数はそうした性格のものとしてご覧ください。（凡例：R:ロード、T:トラック）

2023年度中はロード・トラック、男子女子の総合計で100件の落車報告があった。

同年度中の出走者総数は約4000名であるので、出走者数に対する落車の比率は約2.5%であったことになる。大会毎、チーム毎などの集計を別紙資料としてまとめた。情報収集・分析が今後の落車防止策に役立つことを期待している。

自身の過失で落車した者、巻き添えを食って落車した者はこのように記録に残りますが、後続の落車を誘発したにも関わらず自身は落車はせずにレースを続けた者の記録は当然ながらありません。選手には落車を誘発するような走りをしないよう、させないよう指導していくことが重要だと、分析しながら思うに至りました。

かつてセイフティライド研修会の座学講習で講師を務めた木下智裕氏は「ヨーロッパではロードレースほど安全で楽しいスポーツはない。それは各選手が他の選手をリスペクトして紳士的な走りをするからです。」と言っています。その一言に尽きると考えます。

8 国際大会の開催・参加

2016年から長野県松本市で開催している「JICF国際トラックカップ」は、前年度に続き「千葉・チップスタードーム」にて実施しました。寛仁親王メモリアルを拝し「三笠宮彬子女王殿下」ご臨席の中での開催を致しました。海外選手の参加数の確保やスケジュールの調整（ジャパントラックカップの日程）が課題ではありますが、引き続きの継続開催が期待されるところであります。

9 会議・事業運営

本連盟事務局は、2020年度にジャパン・スポーツ・オリンピックスクエア（千駄ヶ谷）へ移転となりましたが、事務所にて大会・事業の物理的な準備を継続しながら、定例の会合（毎水曜日）を「常務理事会」と併せてリモートで行い、準備・運営・意思統一が円滑に図れる様、事業運営を行いました。

理事会・評議員会といった「基幹会議」も、リモート会議を利用しながら、意思決定・承認が出来る様、可能な限り効率的な運営を実施して参りました。

10 むすび

令和5年度（2023年度）は、前年度インカレで発生してしまった重大な事故を顧（かえり）み、安全な競技運営を第一に進めて参りました。学連の事業ではありませんでしたが、ツールド北海道で、本連盟所属の若い命を失ってしまった事は悲しみに耐えません。安全な大会を実施するため、医療・安全に特化した組織作りと、関係者すべての意識の向上が求められます。今後も引き続き安全な事業運営を前提として、各大会開催や選手の強化育成、自転車競技の普及発展など一層の努力が望まれるところであります。

日本学生自転車競技連盟2023年度 最優秀選手（トラック／ロード ランキング年間最上位者）

- 男子トラック：市田龍生都（中央大学） ○女子トラック：小原 乃亜（八戸学院大学）
○男子ロード：阿部 源（日本大学） ○女子ロード：大蔵 ころこ（早稲田大学）

全日本学生ロードレースカップシリーズ 総合優勝：

小泉 響貴（明治大学）

令和6年6月29日 第1回評議員会資料

日本学生自転車競技連盟

Japan Intercollegiate Cycling Federation

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2

ジャパンスポーツオリムピックスクエア408

ホームページ： <https://jicf.info>

電子メール： jicf@remus.dti.ne.jp